

歯科治療後に生じた広範な皮下気腫

歯科治療後に生じた 広範な皮下気腫

右眼瞼 頸部 傍咽頭

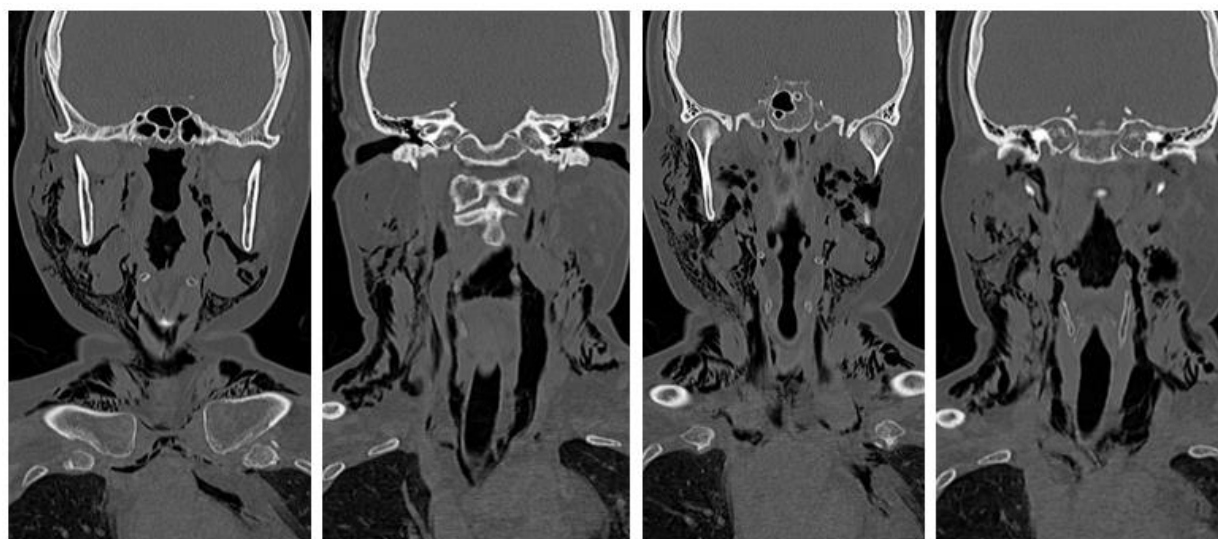


A

B

C

D



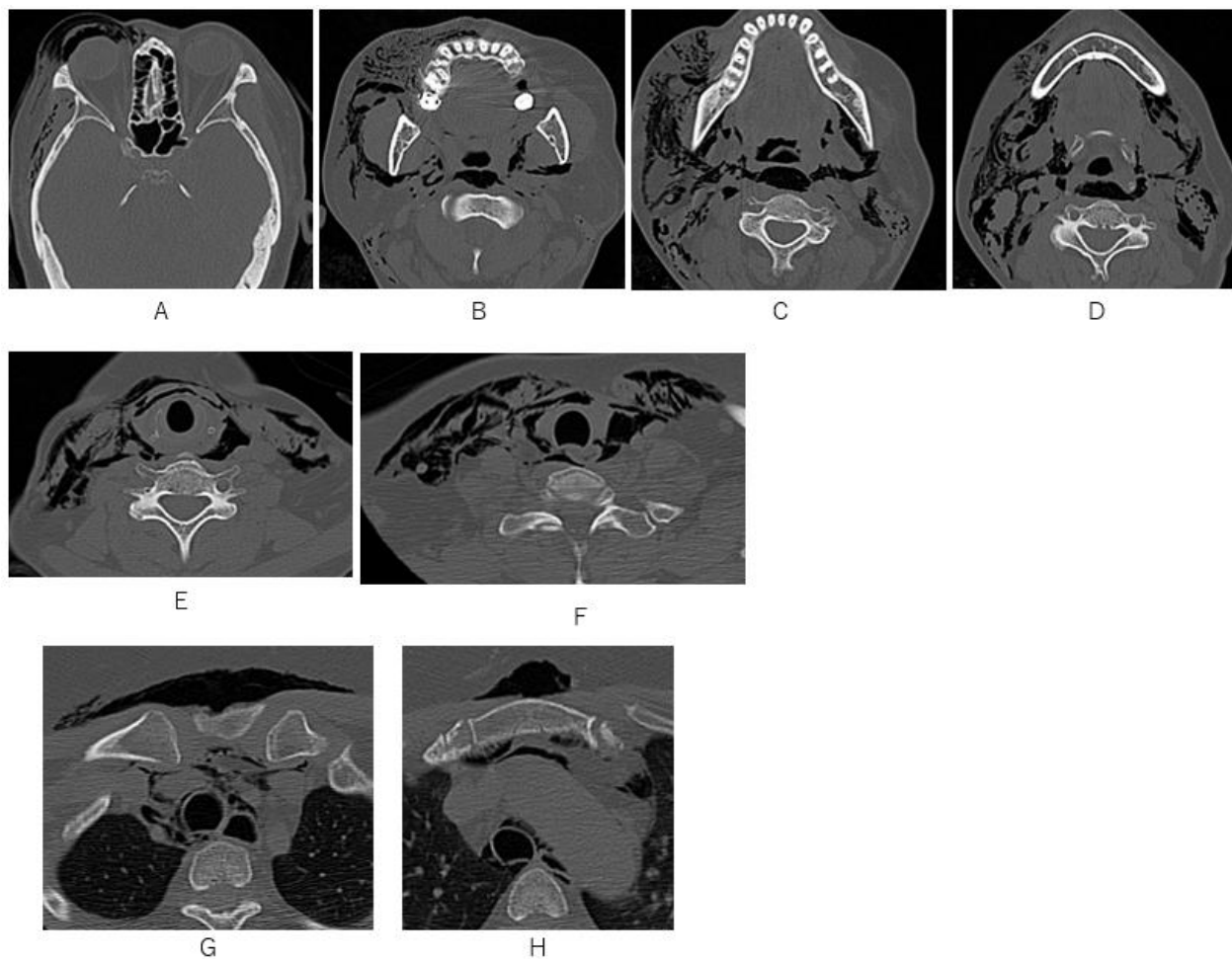
E

F

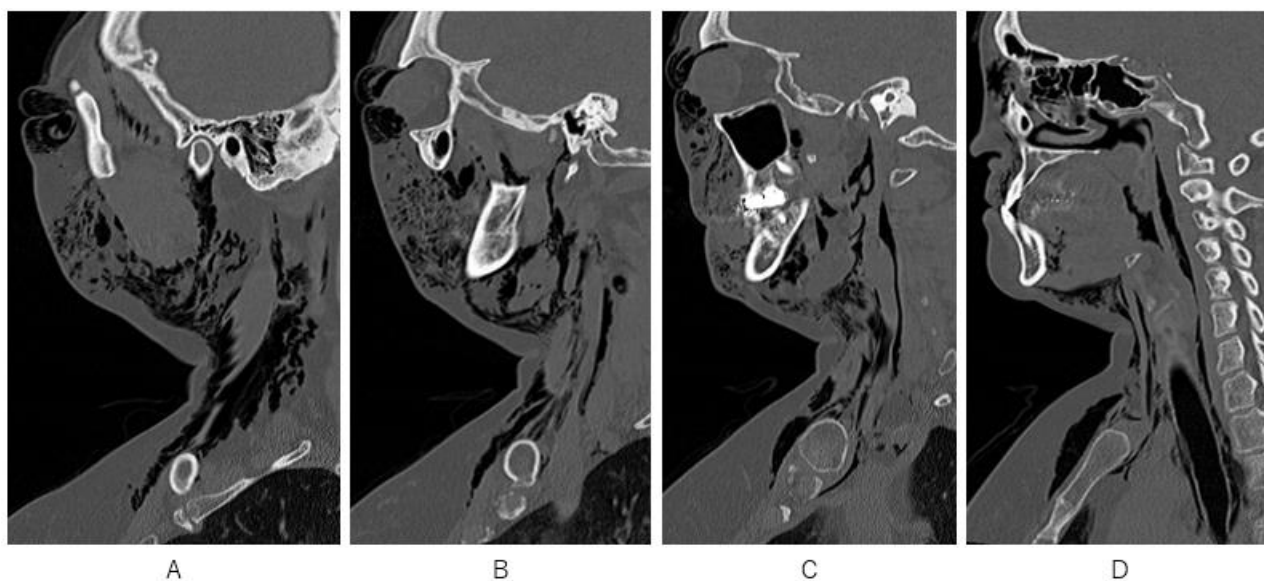
G

H

大量の皮下気腫を眼瞼周囲、咀嚼筋周囲、舌下、顎下皮下組織に認められる。
傍咽頭間隙、後咽頭間隙、縦隔に気腫が認められる。



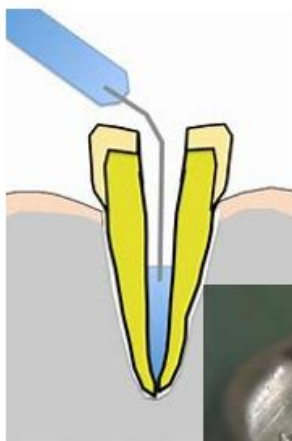
大量の皮下気腫が眼瞼周囲、咀嚼筋周囲、舌下、顎下皮下組織に認められる。傍咽頭間隙、後咽頭間隙、縦隔に気腫が認められる。傍咽頭間隙は、前縦隔に後咽頭間隙は後縦隔に交通している。



大量の皮下気腫が眼瞼周囲、咀嚼筋周囲、舌下、顎下皮下組織に認められる。傍咽頭間隙、後咽頭間隙、縦隔に気腫が認められる。傍咽頭間隙は前縦隔に、後咽頭間隙は後縦隔に交通している。

50代 女性

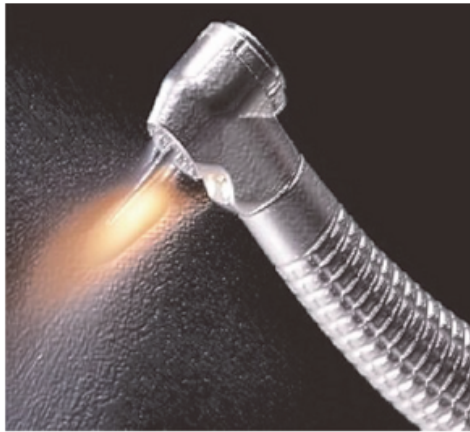
- 右上 齲歯 C4
- 次亜塩素酸ナトリウム 根管治療後
- 根管治療における交互洗浄や根管への**エアシリンジ**の使用
- 埋伏している親知らず：エアタービンで歯や顎の骨を頻繁に削る
- 歯肉の隙間から空気が侵入



動画は、3つある根管を次亜塩素酸で洗浄消毒



エアタービン：圧縮空気を利用して高速回転する歯科用ドリル

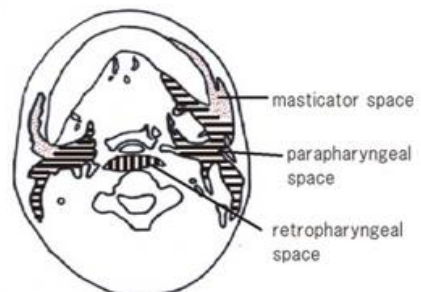
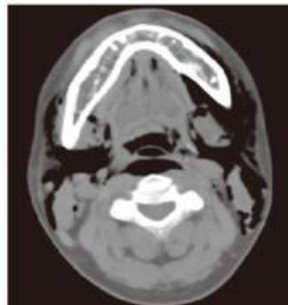
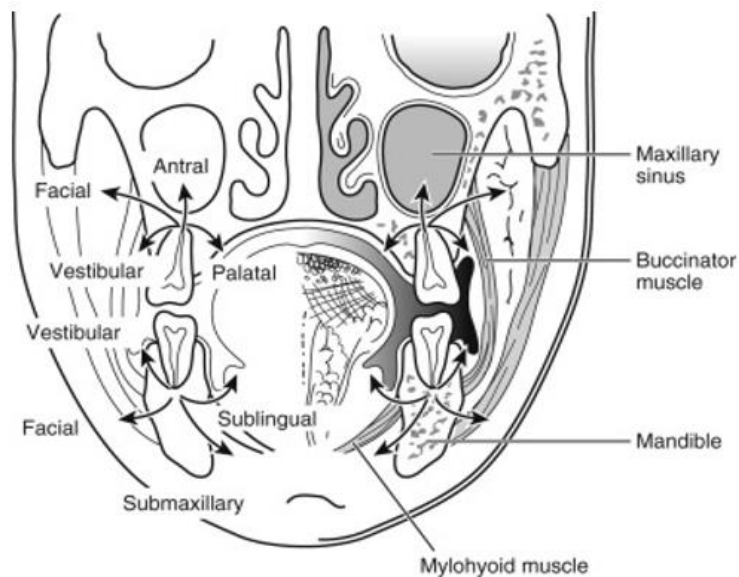
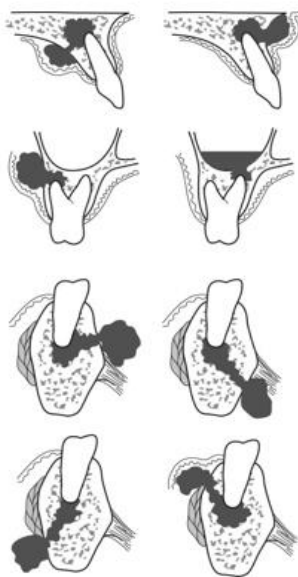


圧縮空気を送ることで1分間に30万～50万回の高速回転

摩擦熱が発生するため、タービンの作動時はヘッドから水が噴出

エアタービンを駆動する空気圧は1.8-4.0kg/cm³、空気量は25-40L/minとされ、器具を冷却するために60mL/minの速度で注水

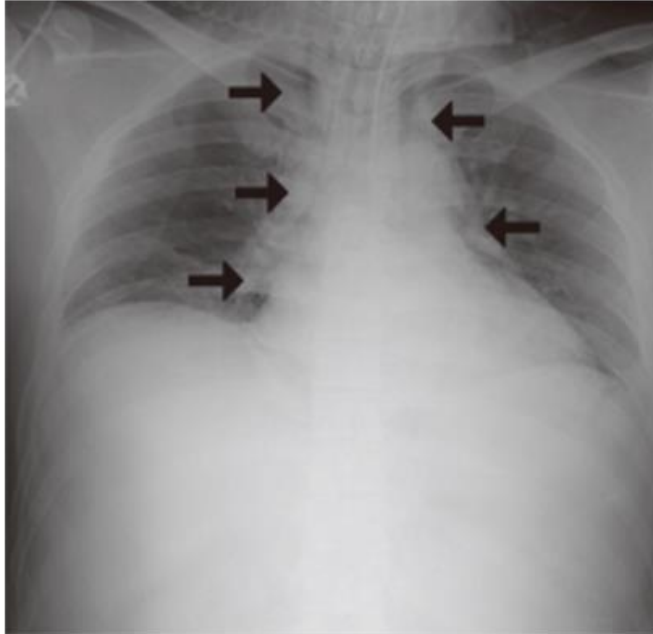
- ・虫歯治療（カリエス除去）
- ・クラウンやブリッジの形成
- ・歯の切削や整形
- ・修復処置の下準備



歯科にて左下顎智歯水平埋伏歯に対して智歯分割抜歯術

歯科治療器具のエアタービンの使用による下顎部粘膜からの高圧圧縮ガスの流入





傍咽頭間隙は前縦隔、
後咽頭間隙は後縦隔

それぞれ交通

進展経路

- 上方へは咀嚼筋間隙から頬部、眼瞼周囲へと進展
- 下方へは舌下隙、顎下隙、咀嚼筋間隙から翼突下顎隙、
傍咽頭間隙、頸部血管鞘、後咽頭間隙へと進展
- 傍咽頭間隙は前縦隔、後咽頭間隙は後縦隔とそれぞれ交通

治療：呼吸困難が強く、
気腫による上気道狭窄(胸部写真 胸部CT)

- 気道確保目的に気管挿管
- 迅速導入：フェンタニル100 μ g,
プロポフォール100mg,
ベクロニウム10mg

2011年1月から2015年12月までの5年の間 10例の報告